





小型ロケット、2機打上げ



SNS社製液体ロケット 「すずかぜ」	ロケット名称	CAMUI型ハイブリッドロケット 「CAMUI-500p」
	打上時の写真	
500kgf	推力	500kgf
エタノール×液体酸素	推進剤	ポリエチレン×液体酸素
<ul style="list-style-type: none"> ・ 推力500kgf級新型エンジンの飛翔環境での実証 ・ 高高度への飛翔及び回収実験 ・ 飛行環境での機体姿勢制御予備実験 ・ 改良型回収機構の実証 	実験項目	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高高度飛翔及び回収技術蓄積 ・ 超音速飛行環境データ蓄積 ・ 改良型回収機構の実証 ・ テレメトリの作動実証
4322mm・113kg	機体全長・重量	3521mm・68kg

平成25年8月10日(土)午前7時53分に、ライブドア元社長の堀江貴文氏が創業者となる「SNS株式会社」(東京都港区)は、大樹町浜大樹の防衛省エンジン試験場跡地から、小型液体燃料ロケット「すずかぜ」の打上実験を行いました。機体は、最高速度マッハ1.16を記録、高度は過去最高となる6.5kmに達しました。

また、同日午前11時45分には、同じ射場から、「NPO法人北海道宇宙科学技術創成センター(HASTIC)」(札幌市)の開発する道産ハイブリッドロケット「CAMUI-500p」の打上げを行いました。打上げ後、機体落下時に、減速用パラシュートが開かず、機体の回収はできませんでしたが、取得できたデータから、到達高度は昨年実績を上回る8.3kmと推測されました。

両ロケットは、今後、この実験で得られた各データを分析し、改良を重ねながら、「大樹から宇宙へ」の夢に挑戦していきます。

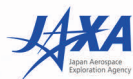
2013サイエンスパーク

平成25年8月7日(水)に札幌市駅前通地下歩行空間で行われた「2013サイエンスパーク」に、大樹町の展示ブースを共同出展しました。宇宙服での写真撮影や折り紙でのロケット製作など行い、「宇宙のまち」のPRをしました。多くの方にご来場いただき、行列ができるほどの盛況でした。



宇宙服で写真撮影

折り紙でロケット製作

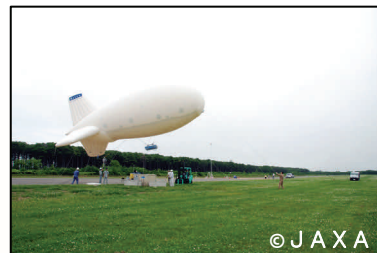


騒音大気伝搬特性計測実験

JAXA DREAMSプロジェクトチームでは、平成25年7月6日～21日まで、「騒音大気伝搬特性計測実験」を実施しました。

日本では将来、航空交通量が増大すると予測されているため、騒音対策が一層重要になると考えられています。このためDREAMSプロジェクトチームでは、交通量が増大しても、地上の広い範囲に騒音が拡散しないよう空港への進入経路を最適化し、騒音の影響を現状と同等レベルにすることを目指し、研究を進めています。このためには、航空機から発生した騒音が、地上でどのように聞こえるかを予測するモデルが必要なため、昨年引き続き係留気球を使用した実験を実施しています。実験では、係留気球と地上にそれぞれ設置したスピーカーから音を発し、上空と地上の双方向での騒音の伝わり方を計測しました。昨年11月にも同様の計測を実施しましたが、今回は昨年とは異なる気象条件(気温の高度分布)の下で、データの更なる拡充を目指し実験を実施しました。

JAXA石井氏は、「今回の実験も役場、近隣の皆様のご理解・ご協力で円滑に実施することができました。今後、データを詳細に解析し、航空機騒音予測モデルの高精度化、航空機騒音の低減に役立てたい」と語っていました。



© JAXA



© JAXA

航空宇宙コラム

今回のコラムは、SNS株創業者である堀江貴文氏に執筆していただきました。

競馬ファンであり、かつて「ホリエモン」の馬主でもあった私は、競走馬の冠名である「タイキ」に触れる機会も多く以前から大樹町には親しみを持っていました。

現町長の伏見さんをはじめ、大樹町役場や酪農や漁業も営む住民の皆さん、また以前からCAMUIロケットの実験で数多くの実績を残しているNPO法人北海道宇宙科学技術創成センター(HASTIC)や株式会社植松電機のご支援もあり、私たちSNS株式会社”なつのロケット団”を大樹町に快く迎え入れて頂いた事を本当に深く感謝しています。

アメリカでは一昨年ニューメキシコ州に民間宇宙旅行専用の宇宙港が新たに建設されましたが、多目的航空公園を有し年間を通じ数多くの航空宇宙実験が行われている大樹町には日本初、いやアジア初の宇宙港となるポテンシャルがあります。

今後は我がSNS社としても民間企業主体の小型ロケットの開発を更に推し進め、将来的には人間を宇宙へ運ぶ有人ロケットを飛ばし、大樹町の産業と雇用の創出にも貢献させていただきたいと思っています。

そして、遂に8/10我々のロケット打上が皆様のご協力の元、大成功しましたことをご報告申し上げます。到達高度は約6.5km、速度は音速を超えることができました。今後も大型エンジンの実験やロケット打上実験を行っていきたく思っております。



ロケットの機体に大樹町章を貼る堀江氏(SNS社提供)



タイキ君 富士山が世界遺産になりましたね！

久齋先生 なんとって日本人にとって富士山は特別な山じゃからのお。富士山の高さ 3776m は大樹町の最高峰ヤオロマップ岳の 1794m より 2 倍以上も高いんじゃ。

タ それだけ高いと宇宙からもハッキリと見えそうですね。

久 そうじゃよ。JAXA の地球観測衛星「だいち」でも富士山は綺麗に撮影されておるぞ。

タ 山頂まで登るとやっぱり寒いんですか？

久 真夏でも 20℃を超えたことは一度もないし、真冬はマイナス 20℃以下に冷えるのに加えて強風が吹くので体感気温はもっと寒いぞ。かつて山頂には測候所があり、レーダーによる台風の観測などが行われておったんじゃ。気象衛星の発達などに伴って閉鎖されたことは 厳しい環境で設置運用されたことを思うと残念じゃが、残された施設は今も民間の団体に活用されており 宇宙線や天文の観測も行われておるようじゃ。

タ 僕も一度富士山に登ってみたいなあ。

発行：大樹町企画課企画係

〒089-2195

北海道広尾郡大樹町東本通33番地

電話：01558-6-2113

HP：http://www.town.taiki.hokkaido.jp

